



# 運用のめんどくさいをなくす ～JP1 Cloud Serviceの概要と事例紹介～

**アシスト**

ビジネスインフラ技術本部 システム基盤技術統括部

現在のITシステムを取り巻く環境は日々変化が加速している状況です。

そのためひとりひとりが担当する業務の増加・複雑化にもつながり  
人手を掛けるべきところに対する見極めの重要性から、運用レスの推進や  
変化に対するコスト最適化が必要になっていると言えます。

これらの課題に対してJP1 Cloud Serviceを利用することで  
解決に向けたヒントや実際に解決した事例についてご紹介いたします。

本セッションを通じて皆様の現場における運用レスやコスト最適化に対する  
検討案に新しい選択肢や見解としての情報提供につながりましたら幸いです。

- IT運用における「めんどくさい」とは
- 運用レスとコスト最適化  
～JP1 Cloud Serviceの活用イメージ～
- コスト最適化と生産性向上の活用事例  
～JP1 Cloud Serviceの利用～
- セッション限定情報



# IT運用における「めんどくさい」とは

---

# 近年のIT運用を取り巻く変化

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

## 時代背景

メインフレームからの  
OPEN化  
インターネットの普及  
業務のオンライン化

インターネットの加速  
**止まらないシステム**  
24時間365日稼働  
紙からデジタルへ

仮想化全盛期  
**オンプレミス/仮想化の混在**  
IoT (Rest API)  
攻めと守りの運用  
**BCPの普及**

**クラウドリフト/シフト**  
モニタリングから  
オブザーバビリティへ  
SaaSの定着化  
**コンテナ/AIの台頭**  
DX推進

## IT運用

手動による物理的な運用  
バッチ・プログラム配置  
テープリールの装填  
職人技の時代

クライアント&サーバ  
複数システムの統合  
SLA、ITIL基準  
ウォーターフォール型開発  
**オペレータによる運用対処**

複雑化するIT運用  
他システムとの連携  
**加速し始めるサービス提供**  
**アジャイル開発、DevOps**  
**俗人化/ブラックボックス化**  
業務自動化 (RPA/RBA)

**運用の多様化・省力化・効率化**  
リスクリング  
**AIの活用 (ChatGPT/生成系AI)**  
サービス利用による人材配置・循環  
(異動・配置換え)

## 社会問題

2000年問題

第4次産業革命  
東日本大震災

サブスクリプション  
サービスの台頭

コロナ禍による働き方改革  
2025年の崖

# 変化するIT運用同様「めんどくさい」も変化

## 調査

のための情報が乱立

エラー通知を受けたけど…

環境へのアクセスが複雑化し、ログにたどり着くまでが大変

提供基盤ごとの個別用語

ナレッジツールが乱立しどこに情報があるかわからない

マニュアル・コマンドの複雑化

サービスのスピードに設計書が追いついていない



## 判断

が多様化・複雑化

対処を導き出すために…

複数基盤による新規エラーの出現

システム拡張・基盤多様化による影響範囲指定の複雑化

原因/対処の分析・リスク検討の広範囲化

複数の専任有識者の判断が必要

複数基盤により承認経路が複雑化



## 実行

手順が次々と増加

イレギュラーな運用対処…

インフラ・ツール変更による手順書作成・レビューの追加

同じ処理でも基盤次第で異なる手順が必要

前提要件の多様化・広範囲化

オペミス・ダブルチェック

作業証跡の取得範囲・対応時間増加



# IT運用が複雑化、広範囲化している

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

時代背景

メインフレームからの  
OPEN化  
インターネットの  
業務のオンライン

インターネットの加速  
止まらないシステム

仮想化全盛期  
オンプレミス/仮想化の混

クラウドリフト/シフト  
モニタリングから  
サーバビリティへ  
定着化  
AIの台頭

環境・基盤のハイブリッド利用による運用の複雑化  
多種・加速化するサービス提供

IT運用

手動による物理的  
バッチ・プログラ  
テープリールの装  
職人技の時代

ウォーターフォール型開発  
オペレータによる運用対応

加速し始めるサービス提供  
アジャイル開発、DevOps  
俗人化/ブラックボックス化  
業務自動化 (RPA/RBA)

多様化・省力化・効率化  
モニタリング  
AIの活用 (ChatGPT/生成系AI)  
サービス利用による人材配置・循環  
(異動・配置換え)

IT人材には限りがあるため  
「めんどくさい」をなくしていく必要がある

2000年問題

第4次産業革命

コロナ禍による働き方改革

東日本大震災

2025年の崖

サブスクリプション  
サービスの台頭

# 「めんどくさい」への対応

運用のめんどくさい

多様化する基盤環境

IT人材の不足

自動化の推進

運用の自動化を推進させて「**運用レス**」の取り組みも。

- ・ RBA：キッティング・インフラ自動化
- ・ RPA：定型業務アプリケーション自動化 など

# 目指したい未来の運用

運用のめんどくさい

多様化する基盤環境

IT人材の不足

自動化の推進

運用の安定とコスト最適化

次のStep（未来の運用）として

限られたIT人材での安定した運用の継続には  
**「運用レス」と「コスト最適化」**を  
実現し、運用のめんどくさいを減らすことが大切です！



# 運用の安定化とコスト最適化に向けて

どのように運用の安定とコスト最適化を行うか、というアプローチに対して次スライドからはJP1 Cloud Serviceが提供するサービスを利用した方法についてをご紹介します。

これらのサービスをご採用いただいたお客様の事例として、JP1 Cloud Serviceのご利用により運用がどのように変化したのか、具体的なコスト最適化は何をもたらしたのかをお届けいたします。

**1. 運用コストの最適化**

サービス利用によるコスト最適化

ハードウェア、OS、前提パッケージの調達、構築作業の費用を始めとして、サービスの利用によるDCへのハウジング

並行稼働用ライセンスが不要

JP1 Cloud ServiceではJP1/AJS3-Managerでバージョンアップ時のJP1ライセンス調達

**2. オンプレミス、クラウドをつなぐ柔軟な基盤間の連携**

JP1 Cloud serviceでオンプレとクラウドをまったくジョブ管理を実現

オンプレミス、クラウド、マルチクラウド、JP1から各種クラウドサービス呼び出す、

AWS/Azure各クラウド環境

仮想サーバ

オンプレミス環境

物理サーバ/仮想サーバ

**3. 高信頼・高品質な業務継続性**

「めんどくさい」準備や構築が不要な基盤準備・運用形態

マルチAZのクラスタ構成、マルチリージョンでのDRをサービスとして提供

購入・作業コストが不要、DRサイトへの切り替えもサービス側で切替を各所への調整、実施のハードルが高かった災対替訓練も実施が可能

JP1 Cloud Serviceの冗長化構成

ログからジョブの実行状態を把握、レポートでも取り可能

レポートの詳細は次ページ

スタックエラーログ 統合トレースログ

**4. 運用のめんどくさいをなくす**

JP1 Cloud Service・JP1/AJS3-Managerのジョブ分析サービス

ジョブ分析

- データ収集、分析、レポートを完全に自動化
- ジョブ運用に精通したエンジニアのナレッジをシステム化したレコメンド機能の提案
- データ取得や蓄積、メンテナンスは一切不要でインターネット経由でWebブラウザからの参照が可能

自動でデータ収集

ジョブ分析

ジョブ分析サービス画面イメージ

- ジョブのピーク分析 (ジョブ起動数・遅延時間)
- ジョブのステータス分析 (開始/終了・実行時間・終了ステータス)
- 障害発生傾向分析 (発生時間・件数推移)
- 定義の保守性分析 (権限度・不要関連)

28



# 運用レスとコスト最適化

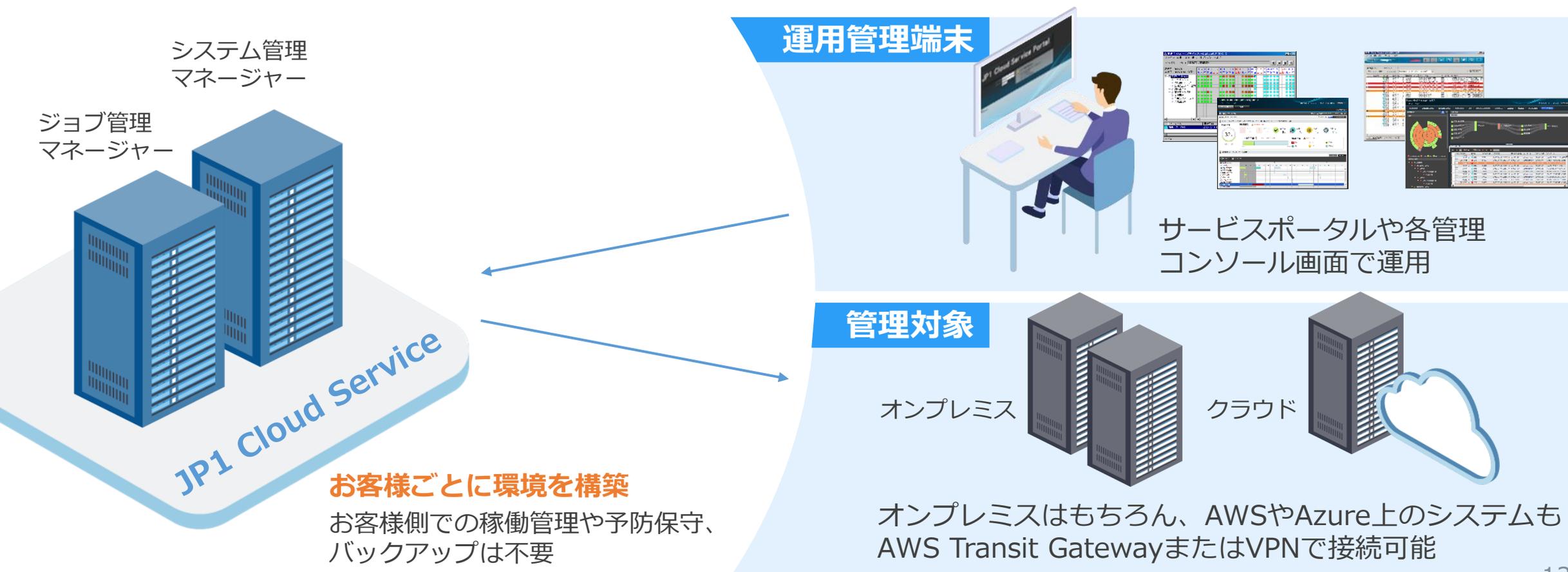
## ～JP1 Cloud Serviceの活用イメージ～

---

# JP1 Cloud Service概要1

## SaaS型の運用管理プラットフォーム

JP1 Cloud Serviceはオンプレミス版のJP1をベースにより進化した機能と確かな高品質をクラウド上で提供します。



## 各マネージャサーバの機能をSaaS提供

- ・ジョブ管理/分析、システム管理、通報通知  
資産管理の各分野ごとのサービスを提供
- ・マネージャサーバの導入作業が不要
- ・JP1の利用に必要なセットアップ作業が不要
- ・HWに関する運用保守対応が不要
- ・バージョンアップ時の並行稼働ライセンスが不要

## 利用用途に合わせたオプションメニュー

- ・シングル/クラスタ構成
- ・必要なジョブ/システム管理/利用ユーザの規模に  
応じたメニューの提供
- ・ディザスタリカバリ
- ・ERPとの連携サービス
- ・各種クラウドサービスとの連携

## サービスポータル画面による操作の実施

- ・ジョブ定義の抽出/移送、ログ取得（※）
- ・メンテナンスのスケジューリングと自動実行
- ・マネージャに紐づくライセンスの管理
- ・実行エージェント/JP1ユーザの操作
- ・接続先hostsの登録
- ・APIキーの表示/作成/削除

※製品版と一部機能差異がございます。

## エージェントサーバ・現行環境連携

- ・AWS:Transit Gateway、Azure：インターネット  
VPNを利用した既存環境との接続
- ・既存ライセンスの利用が可能（※）
- ・JP1/AJS3-DAを利用したジョブ定義編集

※保守契約更新時にJP1 Cloud serviceライセンスへの切り替えが必要です。

## 各マネージャサーバの機能をSaaS提供

- ・ジョブ管理/分析、システム管理、通報通知  
資産管理の各分野ごとのサービスを提供
- ・マネージャサーバの導入作業が不要
- ・JP1の利用に必要なセットアップ作業が不要
- ・HWに関する運用保守対応が不要
- ・バージョンアップ時の並行稼働ライセンスが不要

## 利用用途に合わせたオプションメニュー

- ・シングル/クラスタ構成
- ・必要なジョブ/システム管理/利用ユーザの規模に  
応じたメニューの提供
- ・ディザスタリカバリ
- ・ERPとの連携サービス
- ・各種クラウドサービスとの連携

## サービスポータル画面による操作の実施

- ・ジョブ定義の抽出/移送、ログ取得（※）
- ・メンテナンスのスケジューリングと自動実行
- ・マネージャに紐づくライセンスの管理
- ・実行エージェント/JP1ユーザの操作
- ・接続先hostsの登録
- ・APIキーの表示/作成/削除

※製品版と一部機能差異がございます。

## エージェントサーバ・現行環境連携

- ・AWS:Transit Gateway、Azure：インターネット  
VPNを利用した既存環境との接続
- ・既存ライセンスの利用が可能（※）
- ・JP1/AJS3-DAを利用したジョブ定義編集

※保守契約更新時にJP1 Cloud serviceライセンスへの切り替えが必要です。

## 各マネージャサーバの機能をSaaS提供

- ・ジョブ管理/分析、システム管理、通報通知  
資産管理の各分野ごとのサービスを提供
- ・マネージャサーバの導入作業が不要
- ・JP1の利用に必要なセットアップ作業が不要
- ・HWに関する運用保守対応が不要
- ・バージョンアップ時の並行稼働ライセンスが不要

## 利用用途に合わせたオプションメニュー

- ・シングル/クラスタ構成
- ・必要なジョブ/システム管理/利用ユーザの規模に  
応じたメニューの提供
- ・ディザスタリカバリ
- ・ERPとの連携サービス
- ・各種クラウドサービスとの連携

## サービスポータル画面による操作の実施

- ・ジョブ定義の抽出/移送、ログ取得 (※)
- ・メンテナンスのスケジューリングと自動実行
- ・マネージャに紐づくライセンスの管理
- ・実行エージェント/JP1ユーザの操作
- ・接続先hostsの登録
- ・APIキーの表示/作成/削除

※製品版と一部機能差異がございます。

## エージェントサーバ・現行環境連携

- ・AWS: Transit Gateway、Azure : インターネット  
VPNを利用した既存環境との接続
- ・既存ライセンスの利用が可能 (※)
- ・JP1/AJS3-DAを利用したジョブ定義編集

※保守契約更新時にJP1 Cloud serviceライセンスへの切り替えが必要です。

## 各マネージャサーバの機能をSaaS提供

- ・ジョブ管理/分析、システム管理、通報通知  
資産管理の各分野ごとのサービスを提供
- ・マネージャサーバの導入作業が不要
- ・JP1の利用に必要なセットアップ作業が不要
- ・HWに関する運用保守対応が不要
- ・バージョンアップ時の並行稼働ライセンスが不要

## 利用用途に合わせたオプションメニュー

- ・シングル/クラスタ構成
- ・必要なジョブ/システム管理/利用ユーザの規模に  
応じたメニューの提供
- ・ディザスタリカバリ
- ・ERPとの連携サービス
- ・各種クラウドサービスとの連携

## サービスポータル画面による操作の実施

- ・ジョブ定義の抽出/移送、ログ取得（※）
- ・メンテナンスのスケジューリングと自動実行
- ・マネージャに紐づくライセンスの管理
- ・実行エージェント/JP1ユーザの操作
- ・接続先hostsの登録
- ・APIキーの表示/作成/削除

※製品版と一部機能差異がございます。

## エージェントサーバ・現行環境連携

- ・AWS:Transit Gateway、Azure：インターネット  
VPNを利用した既存環境との接続
- ・既存ライセンスの利用が可能（※）
- ・JP1/AJS3-DAを利用したジョブ定義編集

※保守契約更新時にJP1 Cloud serviceライセンスへの切り替えが必要です。

## 各マネージャサーバの機能をSaaS提供

- ・ **ジョブ管理/分析**、システム管理、通報通知  
資産管理の各分野ごとのサービスを提供
- ・ マネージャサーバの導入作業が不要
- ・ JP1の利用に必要なセットアップ作業が不要
- ・ **HWに関する運用保守対応が不要**
- ・ **バージョンアップ時の並行稼働ライセンスが不要**

## 利用用途に合わせたオプションメニュー

- ・ シングル/**クラスタ構成**
- ・ 必要なジョブ/システム管理/利用ユーザの規模に応じたメニューの提供
- ・ **ディザスタリカバリ**
- ・ ERPとの連携サービス
- ・ **各種クラウドサービスとの連携**

## サービスポータル画面による操作の実施

- ・ ジョブ定義の抽出/移送、ログ取得 (※)
- ・ **メンテナンスのスケジューリングと自動実行**
- ・ マネージャに紐づくライセンスの管理
- ・ 実行エージェント/JP1ユーザの操作
- ・ 接続先hostsの登録
- ・ APIキーの表示/作成/削除

※製品版と一部機能差異がございます。

## エージェントサーバ・現行環境連携

- ・ AWS:Transit Gateway、Azure：インターネットVPNを利用した既存環境との接続
- ・ 既存ライセンスの利用が可能 (※)
- ・ JP1/AJS3-DAを利用したジョブ定義編集

※保守契約更新時にJP1 Cloud serviceライセンスへの切り替えが必要です。

**本セッションではこれらの機能を基に運用レスとコスト最適化の実現に向けたご紹介を実施いたします。**

1. 運用コストの最適化
2. オンプレミス、クラウドをつなぐ柔軟な基盤間の連携
3. 高信頼・高品質な業務継続性
4. 運用のめんどくさいをなくす！

# 1.運用コストの最適化

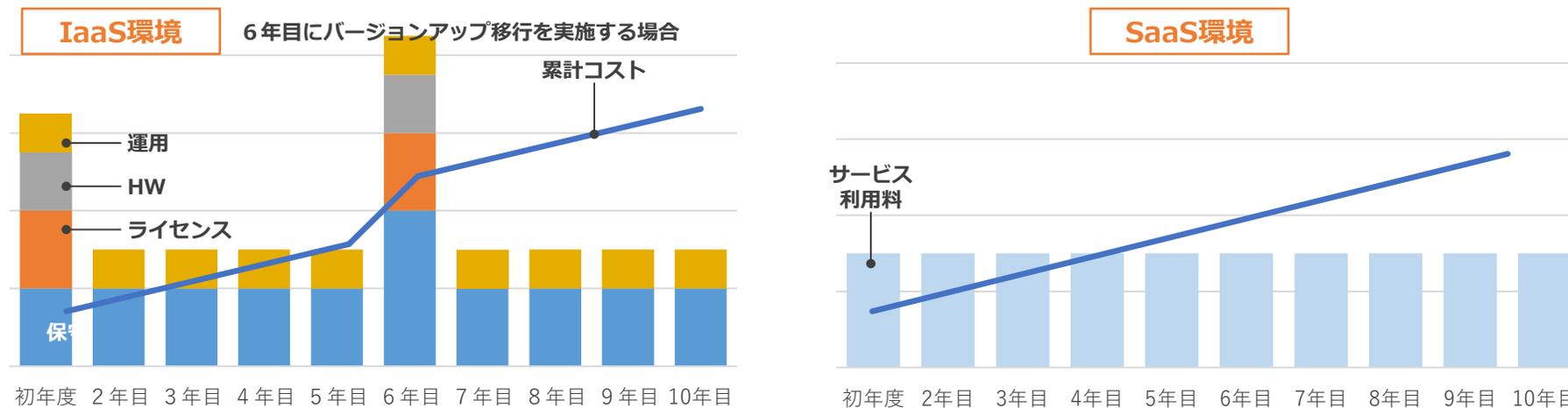
## サービス利用によるコスト最適化

ハードウェア、OS、前提パッケージの調達・構築作業の費用を始めとし  
サービスの利用によるDCへのハウジング、障害発生時のベンダ対応の**コスト最適化**が図れます。

## 並行稼働用ライセンスが不要になりました

JP1 Cloud ServiceではJP1/AJS3-Managerと異なり、システム更改時の**並行稼働ライセンスが不要**です。  
バージョンアップ時のJP1ライセンス調達やJP1マネージャ環境の構築などが不要になります。

総コスト比較



※ IaaS環境はAWS EC2物理4コア+クラスタソフトの構成で6年目にシステム更改を実施する前提 SaaS環境はエンタープライズプラン+リソース拡張オプション Level 1の構成

# JP1 Cloud Serviceによるインフラ運用リソースの開放

マネージャーサーバの運用から解放されるメリットは多数



業者手配、マネージャーならではの冗長化、DRを含めた  
**現地での構築作業が・・・**



作業リスクの高いマネージャーサーバの  
**定期メンテナンス作業が・・・**



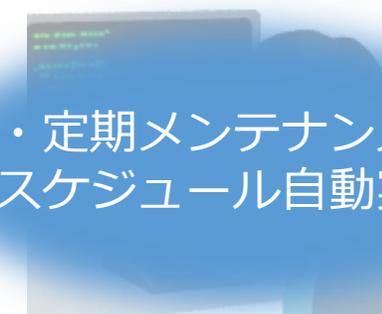
ジョブ実行サーバと異なり緊急度の高いマネージャサーバへの  
**HW調達/障害手配・現地対応が・・・**

# JP1 Cloud Serviceによるインフラ運用リソースの開放

JP1 Cloud Serviceの活用でマネージャーサーバの**ジョブ実行基盤の安定稼働**と**コスト最適化**を実現することで**めんどくさい**の解消にもつながります！！

- 
- ・構築コストが不要
  - ・クラスタソフトも購入不要

業者手配、マネージャーならではの冗長化、DRを含めた  
現地での構築作業が・・・

- 
- ・定期メンテナンスのスケジュール自動実行

作業リスクの高いマネージャーサーバの  
定期メンテナンス作業が・・・

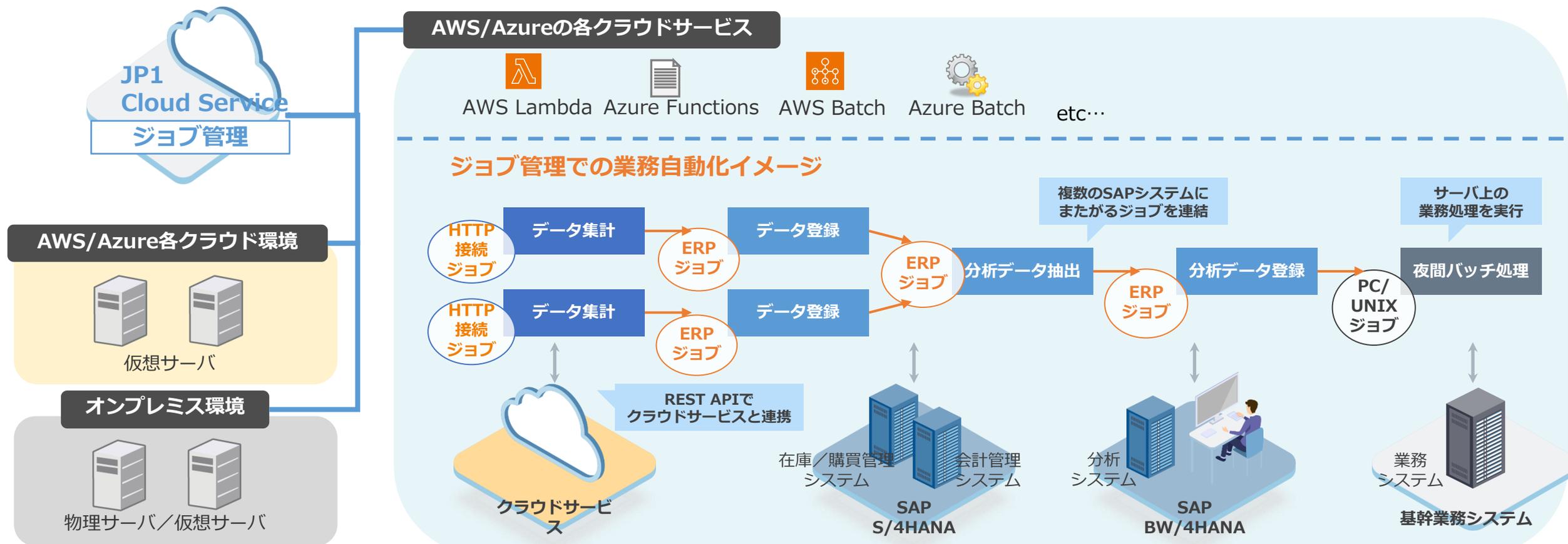
- 
- ・HW障害から開放
  - ・サービス提供による基盤安定稼働

ジョブ実行サーバと異なり緊急度の高いマネージャサーバへの  
HW調達/障害手配・現地対応が・・・

# 2. オンプレミス、クラウドをつなぐ柔軟な基盤間の連携

## JP1 Cloud serviceでオンプレとクラウドをまたぐジョブ管理を実現

オンプレミス、クラウド、マルチクラウド、ハイブリッドクラウドと基盤を意識することなくジョブ実行が可能。  
JP1から各種クラウドサービスを呼び出す、といった**各種クラウドサービスとの連携も可能**です。

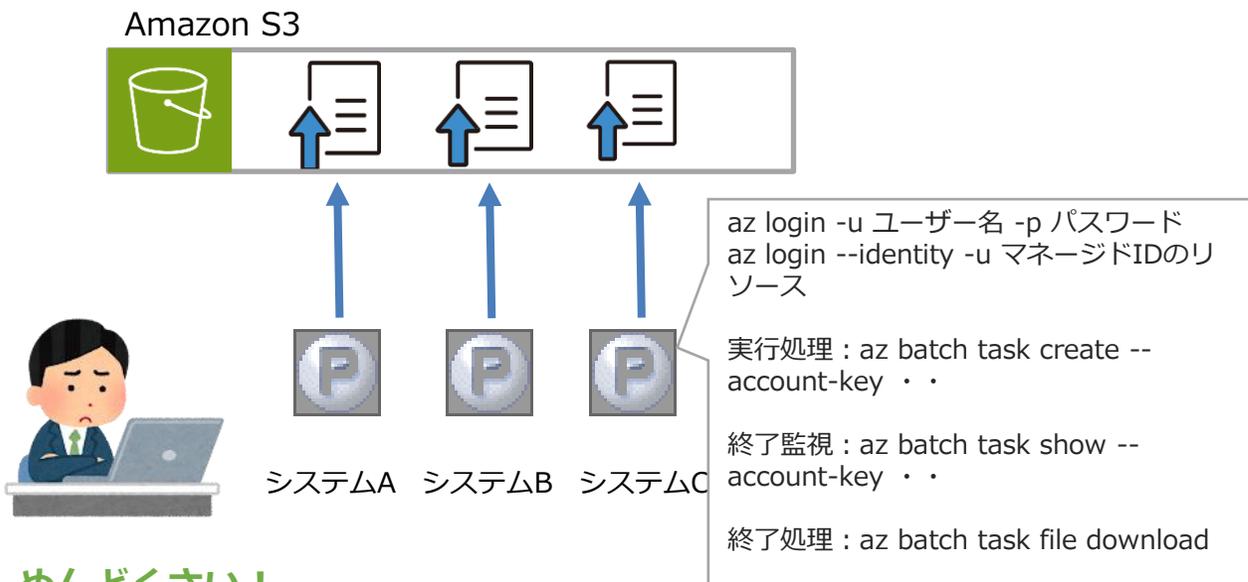


※ SAP S/4/HANA Cloud : SAP S/4HANA Cloud Private Editionとの連携を指します。連携にはERP連携オプションへのお申し込みが必要となります。  
※ 各クラウドサービスとの連携は5サービスまで無償でご利用が可能です。6つ以上ご利用となる場合はクラウドサービス連携オプションをお申し込みください。

## ジョブネット内で主要なSaaSをジョブとして管理

クラウドサービスを利用するための「認証 - 実行 - 監視 - 結果確認」をスクリプトではなくカスタムジョブとして登録できるため、繰り返し記述するスクリプト作成から解放されます。対象処理はジョブの複製で容易に展開できます。

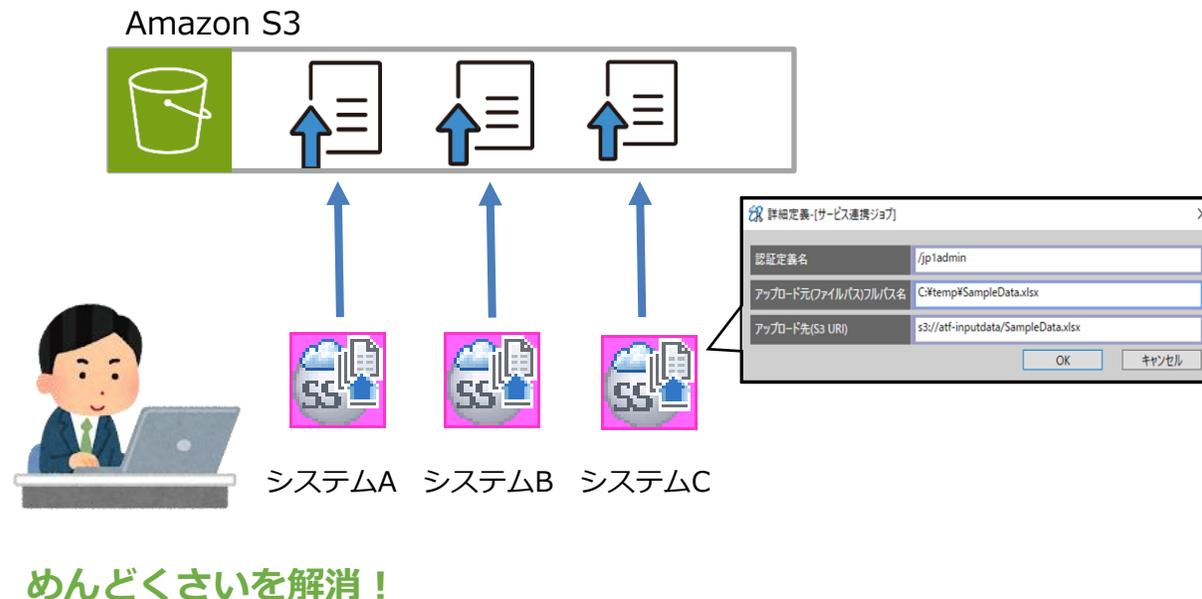
日次バックアップの実施



### めんどくさい!

- システム単位でクラウドサービスとの認証・アップロード処理をスクリプト作成
- スクリプトテスト・変更管理

日次バックアップの実施

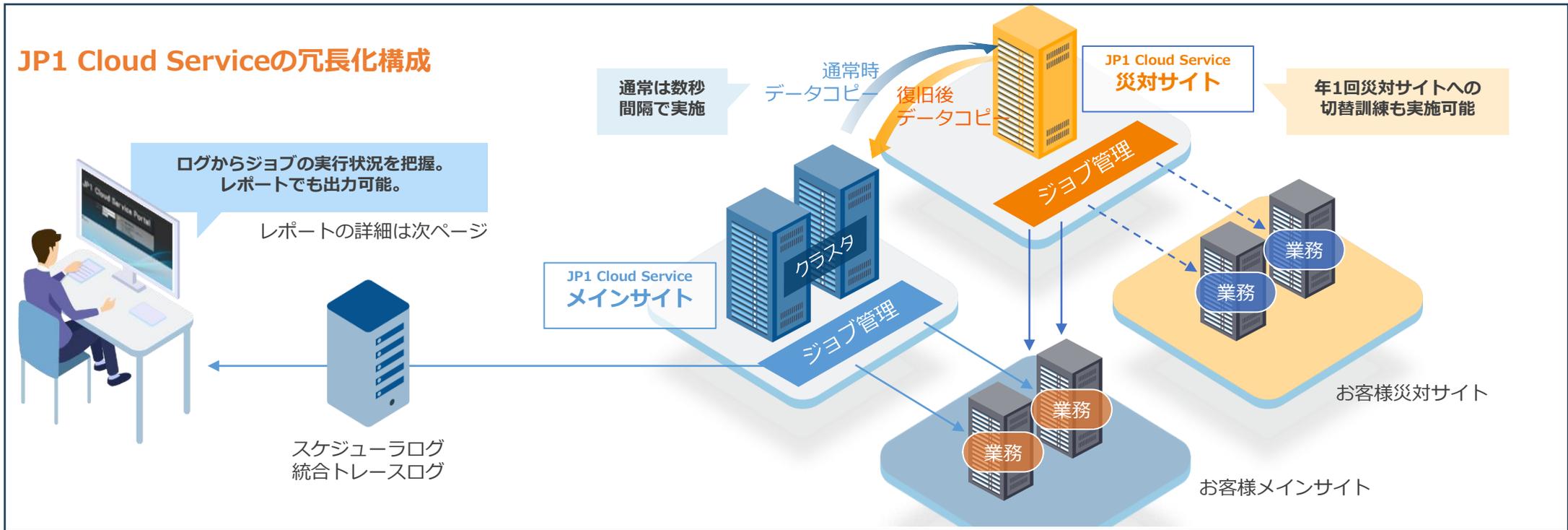


### めんどくさいを解消!

- 接続・処理情報をカスタムジョブ登録
- JP1の管理対象がクラウドサービス、オンプレミス・仮想ホストと容易に連動が可能に

## 「めんどくさい」準備や構築が不要な基盤準備・運用形態の提供

マルチAZのクラスタ構成、マルチリージョンでのDRをサービスとして提供しているため、**クラスタソフトの購入・作業コストが不要**、DRサイトへの切り替えも**サービス側で切替を自動化**。各所への調整、実施のハードルが高かった災対切替訓練も実施が可能になっています。



※ クラスタ構成にはエンタープライズエディションでのお申込みが必要となります。DRサイトご利用の際は別途ディザスタリカバリオプションが必要となります。

## クラスタソフト検討

どのクラスタソフト使う？

運用手順・マニュアル整備

切替スクリプトは誰が作る？

導入作業

対応Version

費用



## 基盤検討

AZをまたいだ構成

DRは異なるリージョンを用意

VIP方式/DNS方式

作業申請

AWS/Azure/OCI...

ポート透過・セキュリティGの設定



## 切替検討

切替手順の作成

基盤構成が分からない

責任者が不明

判断できない

手順が最新化されていない

誰も実施したことがない



同期モードが解除されており整合性が保てず待機系でサービスが起動しなかった。

試験的にDNSのAレコードが切替えられており、切り替えができなかった。

環境はあっても実際にDR切り替え対応をしたことなく、予定通りの切り替えとは程遠い結果となった。

など

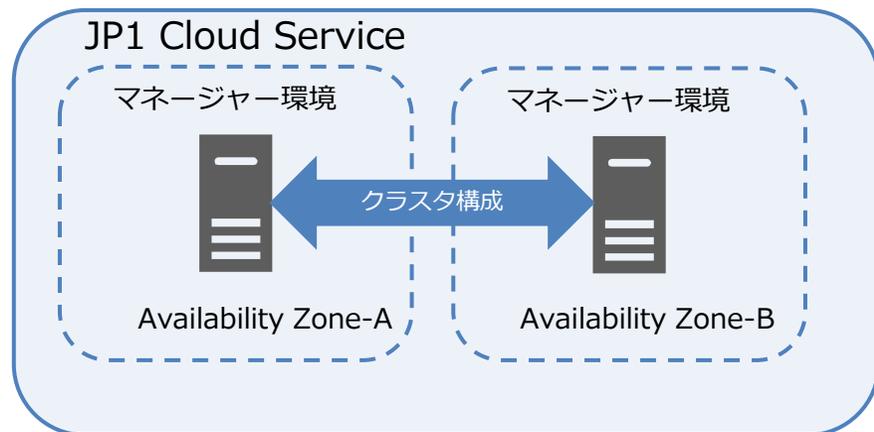
頑張って対応したのに。。。



## 安心・安全な冗長化機能と切替を行う2つのサービスを提供

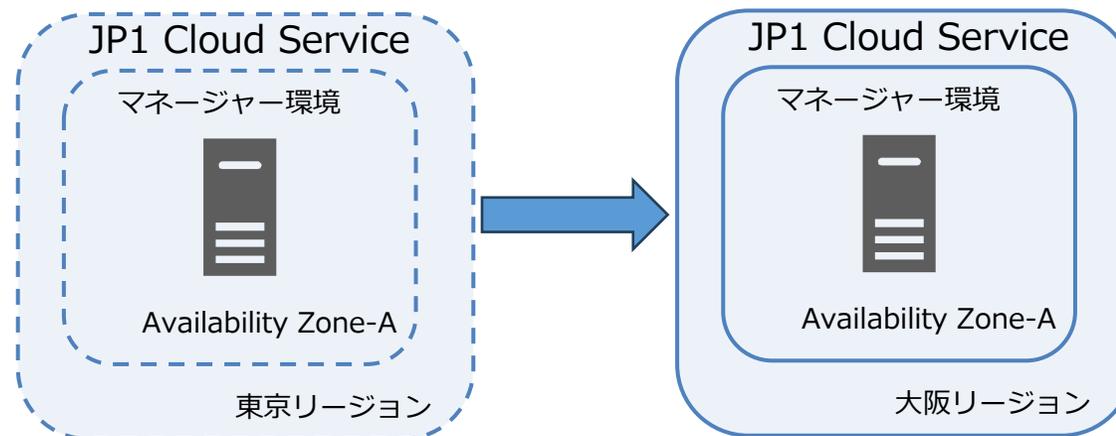
### エンタープライズ

- マルチAZ間でのクラスタ構成
- 自動バックアップの提供
- パッチ適用
- サービスレベル指標 99.95%



### エンタープライズ ディザスタリカバリオプション

- マネージャ環境の災対環境を提供
- 設定データ等は動的に移行



## JP1 Cloud Service ・ JP1/AJS3-Managerのジョブ分析サービス

### ジョブ分析

- データ収集、分析、レポートを**完全に自動化**
- ジョブ運用に精通したエンジニアの**ナレッジをシステム化したレコメンド機能**の提案
- データ取得や蓄積、メンテナンスは一切不要でインターネット経由でWebブラウザからの参照が可能

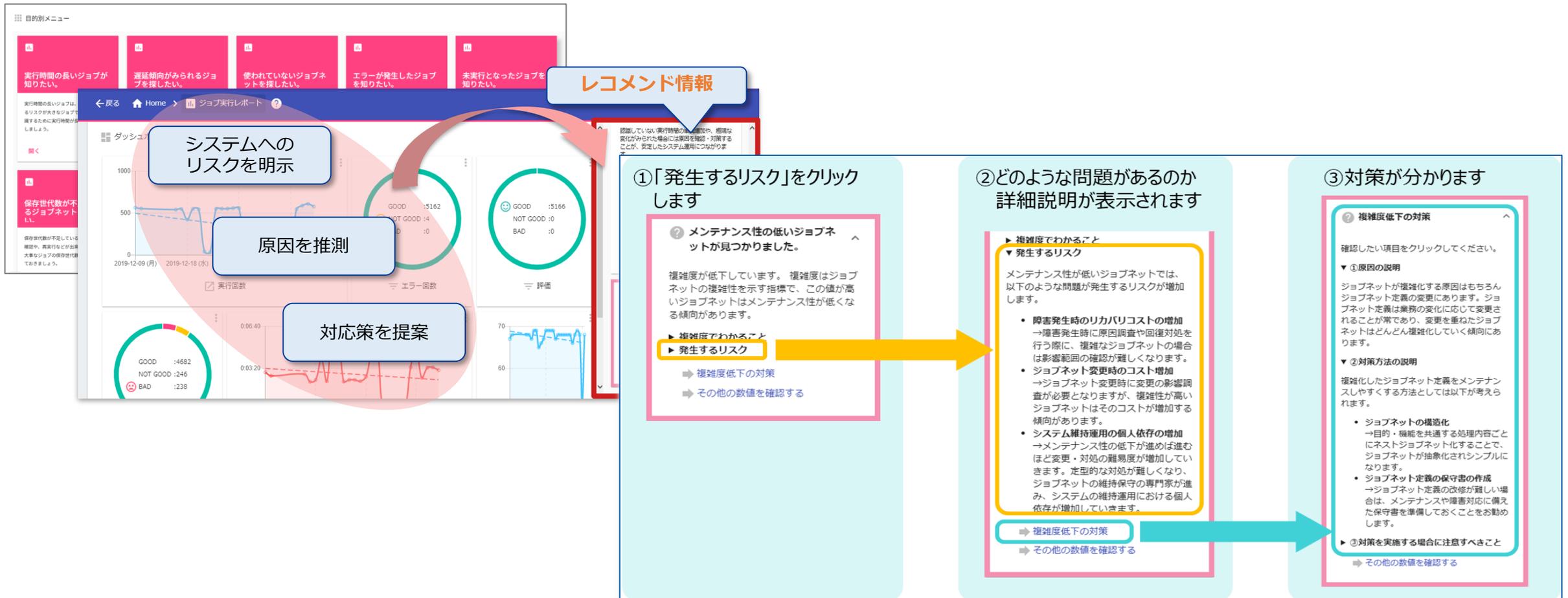


# ジョブ分析の1次切り分けが飛躍的に向上

ジョブ分析

## ナレッジがシステム化されているのですぐに誰でも利用できます

よくある分析レポートを10種以上用意、カスタマイズも可能でレポートに表示されるレコメンド機能を参考に  
**1次切り分け、原因特定の絞りこみ**の時間を飛躍的に改善します。



**システムへのリスクを明示**

**原因を推測**

**対応策を提案**

**レコメンド情報**

実行時間の長いジョブが知りたい。  
遅延傾向がみられるジョブを探したい。  
使われていないジョブネットを探したい。  
エラーが発生したジョブを知りたい。  
未実行となったジョブを知りたい。

ダッシュボード

GOOD :5162  
NOT GOOD :4  
BAD :0

GOOD :4682  
NOT GOOD :246  
BAD :238

①「発生するリスク」をクリックします

メンテナンス性の低いジョブネットが見つかりました。

複雑度が低下しています。複雑度はジョブネットの複雑性を示す指標で、この値が高いジョブネットはメンテナンス性が低くなる傾向があります。

▶ 複雑度でわかること

▶ 発生するリスク

⇒ 複雑度低下の対策  
⇒ その他の数値を確認する

②どのような問題があるのか  
詳細説明が表示されます

▶ 複雑度でわかること

▼ 発生するリスク

メンテナンス性が低いジョブネットでは、以下のような問題が発生するリスクが増加します。

- ・ 障害発生時のリカバリコストの増加  
→ 障害発生時に原因調査や回復対応を行う際に、複雑なジョブネットの場合は影響範囲の確認が難しくなります。
- ・ ジョブネット変更時のコスト増加  
→ ジョブネット変更時に変更の影響調査が必要となりますが、複雑性が高いジョブネットはそのコストが増加する傾向があります。
- ・ システム維持運用の個人依存の増加  
→ メンテナンス性の低下が進めば進むほど変更・対応の難易度が増加していきます。定型的な対応が難しくなり、ジョブネットの維持保守の専門家が進み、システムの維持運用における個人依存が増加していきます。

⇒ 複雑度低下の対策  
⇒ その他の数値を確認する

③対策が分かります

② 複雑度低下の対策

確認したい項目をクリックしてください。

▼ ①原因の説明

ジョブネットが複雑化する原因はもちろんジョブネット定義の変更にあります。ジョブネット定義は業務の変化に応じて変更されることが常であり、変更を重ねたジョブネットはどんどん複雑化していく傾向にあります。

▼ ②対策方法の説明

複雑化したジョブネット定義をメンテナンスしやすくする方法としては以下が考えられます。

- ・ ジョブネットの構造化  
→ 目的・機能を共通する処理内容ごとにネストジョブネット化することで、ジョブネットが抽象化されシンプルになります。
- ・ ジョブネット定義の保守書の作成  
→ ジョブネット定義の改修が難しい場合は、メンテナンスや障害対応に備えた保守書を準備しておくことをお勧めします。

▶ ③対策を実施する場合に注意すべきこと

⇒ その他の数値を確認する



# コスト最適化と生産性向上の活用事例

## ～JP1 Cloud Serviceの利用～

---

## 某証券会社様 選定サービス：ジョブ管理、通報管理

### 検討背景

- システム増加に伴う**人材不足**
- 障害用に**可用性のあるジョブ管理基盤を構築**したい
- 勘定系システムの老朽化対策

### ご利用サービス

- ジョブ管理 – 本番：エンタープライズ、開発：スタンダード  
ジョブ実行規模：5,000ジョブ/日
- 通報通知 – 基本プラン+ユーザ追加オプション（50ユーザ）  
電話通知オプション（電話通知件数250回/月）  
電話通知追加オプション（電話通知件数+50回/月）

### 導入効果

JP1 Cloud Serviceエンタープライズオプションの利用により、クラスタソフトの導入コスト見直しと可用性を確保し障害時の切り替え自動化による**基盤の安定運用**から、既存のインフラ基盤、運用担当要員のコストを比較すると該当のお客様環境では**要員の2人月分のコストメリット**が見込まれる算出結果となった。

結果として、2名を希望する他部署への配置換えによる**社内人材配置・循環の活性化**とインフラ管理・運用における**コスト最適化**が図れた。

## ▶▶▶ 某サービス業様 選定サービス：ジョブ管理

### 検討背景

- オンプレミス環境から**基幹システムの刷新**を計画
- 複数システムでホストマイグレーションが進行中  
(**SAP S/4HANA**を採用予定)
- ハードウェア**ベンダーロックインからの解放**

### ご利用サービス

- ジョブ管理 – 本番：エンタープライズ  
ジョブ実行規模：200ジョブ/日  
ERP連携オプション

### 導入効果

基幹システム刷新としてJP1 Cloud Serviceを利用することで、更改にかかる現地作業、業務継続性、SAP S/4HANAとの連携といった**検討項目をサービスとして利用**することで当初想定していた新システムへのスキル習得や**IT人材の確保問題**が解消された。

また、JP1 Cloud Serviceは経年による**保守費用の増加もなく**、バージョンアップ時の**並行稼働用ライセンスも不要**であり、長期利用向けとしてこれまでの**コスト見直し・最適化**が図れたとして採用に至った。



# セッション限定情報

---

## ジョブ/システム管理共通

- サービス側で利用する**IPアドレスの範囲が縮小**され、お客様環境との競合リスクが低減されます。
- REST APIの公開により**サービスポータルの手動操作がシステムから操作可能**になります。
- エージェント環境にGoogle Cloudが追加になります。
- メンテナンス時刻等のお知らせがサービスポータルのログイン画面に表示されます。
- DNSクラスタ構成時にパブリックDNSの参照が可能になります。

## ジョブ管理

- SAPライブラリをサービスポータル経由でマネージャ環境に配置が可能になります。

## ジョブ分析

- 指定したジョブネットのクリティカルパスを表示し、重点ジョブの特定、ジョブ追加の突き抜けリスク判定が可能になります。

## システム管理

- **生成AI連携強化**として外部ナレッジおよび複数知識DBを横断した判断/回答が提供されます。
- 複数の監視マネージャに監視対象から**稼働情報、イベント情報を送信が可能**になります。
- 小規模版のリリースにより**スモールスタート**での利用が行えるようになります。

## 通報管理

- JP1 CS通報管理へ通知する処理テンプレートにLinux版のカスタムジョブが提供されます。
- 以下の**機能拡張**が実装されます。
  - 添付ファイル付きメール送信
  - 電話の読み上げ中のプッシュ操作割り込み
  - 音声メッセージ再生時の読み替え辞書機能
- APIキーの発行により直接呼出しが可能となり、Webhookとの組み合わせが容易になります。
- REST APIまたはコマンド連携時に制御可能な**通知フィルタ**が**実装**されます。

## エンドポイント管理

- JP1/ITDM2**アカウントのメンテナンス**（追加・変更・削除）が可能になります。
- 任意のタイミングで**操作ログファイルが取得**できるようになります。
- 管理項目の定義情報（部署常用、設置場所情報等）を**一括登録・修正**できるようになります。
- Windows Server 2025、Windows 11 Enterprise LTSCをサポートします。
- UNIX/Linuxのソフトウェア情報を取得できるようになります。

世の中のITサービス提供が加速する一方、IT基盤の多様化・複雑化も進み運用する側もそれに合わせたスキル習得・対応が必要になります。

生成AIやNoOpsといった技術もありますが、これらの採用を始め運用の現場における課題対応や工夫、未来に向けた取り組みかたについては、後半のパネルディスカッションの内容にもなっておりますのでぜひご視聴ください。

本セッションでは増え続ける「めんどくさい」運用はコストの増加だけでなく人材不足の拍車につながるためJP1 Cloud Serviceを1つの選択肢として、基盤準備・利用いただくことによる「コストの最適化」から「運用レスの推進」を通じて限りある貴重な人材を組織内で循環・有効活用された事例についてご紹介をさせていただきました。

本セッションがみなさまのIT運用改善の一助となりましたら幸いです。

最終スライド

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。  
※本資料の内容は2025年8月時点の情報に基づく参考情報です。仕様・価格・SLA・提供条件は  
予告なく変更される場合があります。正式条件は契約書および最新の製品ドキュメントに従います。